



ん
イマイチね……



しかももし、
ヘタなもの
見せたら……



あ……

あ……



まだ性欲の
チャージが
足りてないの
かしら？



あああああ
あり得る……



もうちょっと
それつけて
頑張って
みましようか♡

あと3か月
くらい溜めれば
もう少しいいものが
できるんじゃないか
かしら？





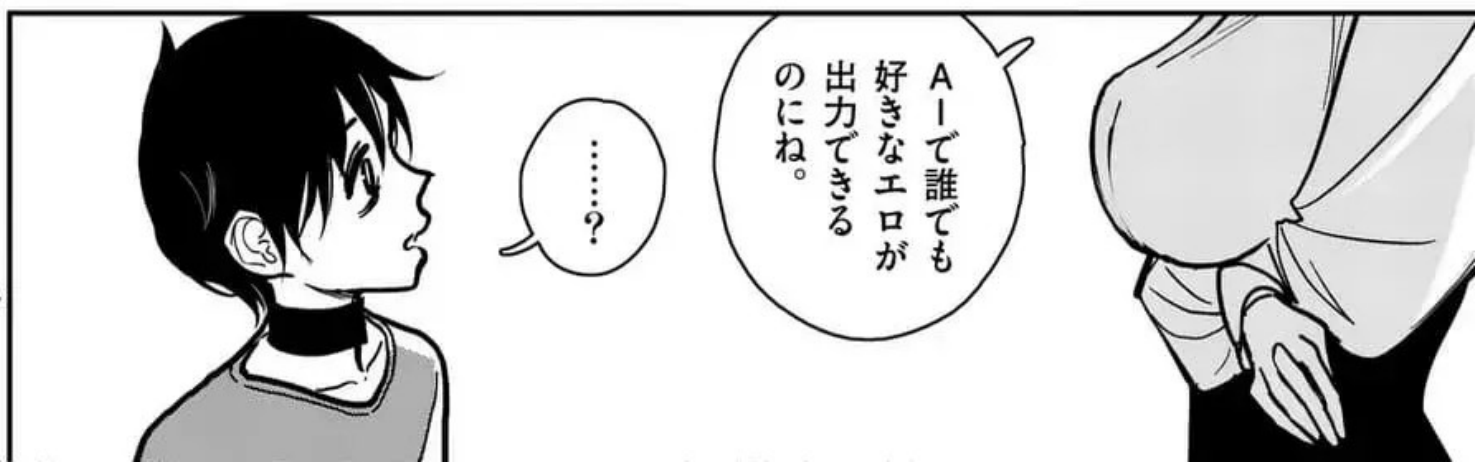
だめだ…

グ
ミ
ャ



あの部長を
満足させられるような
NTRてどんなだ…??

う
—
ん…



このように
エロ要素のない
物でさえ……

創作者の思念で
こうもエロく
変貌する。

それが性癖よ。

Mangaraku

あなたはまだ
NTRに出会った
ばかり。

NTRという
自分の性癖も
把握しきれて
いないのかも…

せー(サ…

いいところに
連れて行って
あげる。

こちらへ。



性癖が……

それは人の性癖が
人の心を打つからよ。

という
性癖があるわ。

「液体洗剤粉砕機」

そうねえ
例えば……

潰されていく
圧力で中身が
……

ただそれだけ
なのだけれど、

ボトル入りの
洗剤を粉砕機で
潰していく。

人類の、

至宝よ。

ここで
自分のNTRを
見つめなおすと
いいわ。

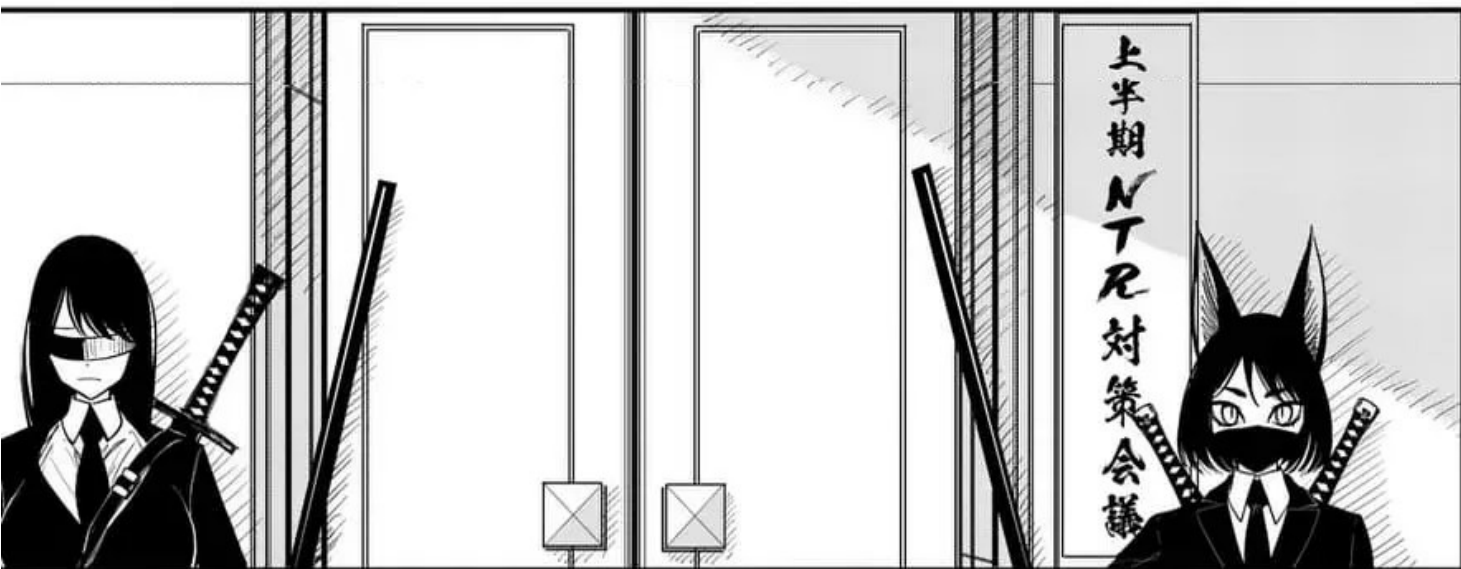
……！

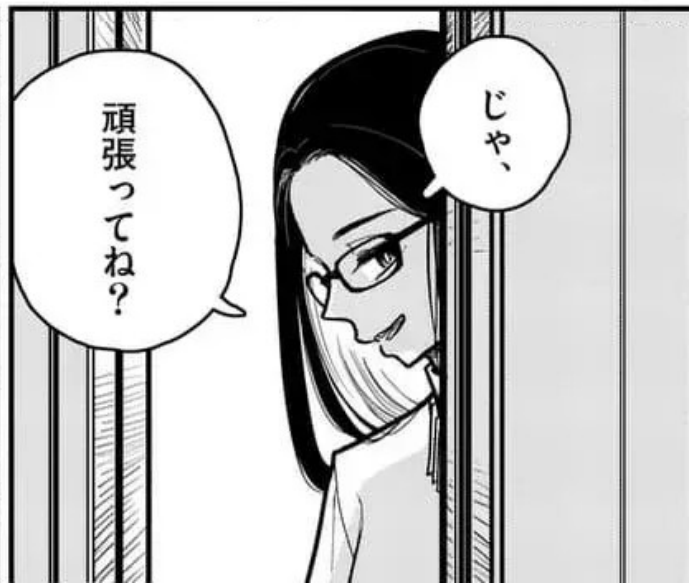
見つめて…
濃縮して……

表現するに足る、

いえ、描かずには
いられないような、

あなただけの
NTRを
見つけ出すの。





そして、
なんの疑いもなく
読んでいました。

Mangakaw.ma

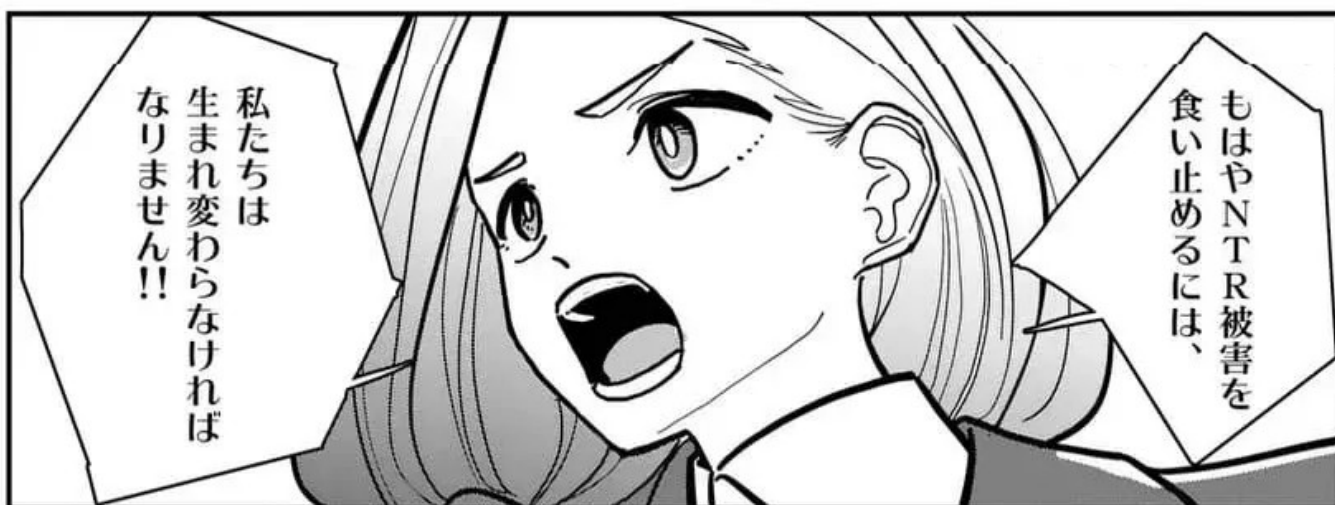
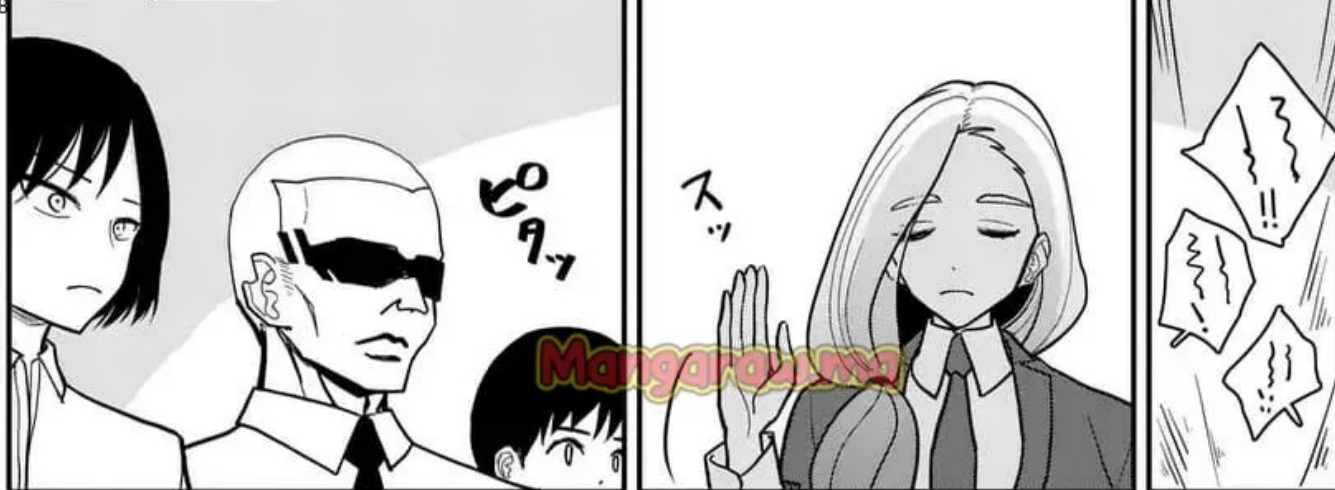
そしたら…

そしたら
ラストが……

不意打ちで、

NTRだったん
です!!

それ以来私
物語を読むのが
怖くて怖くて……



心ある
風紀委員の
皆さん、

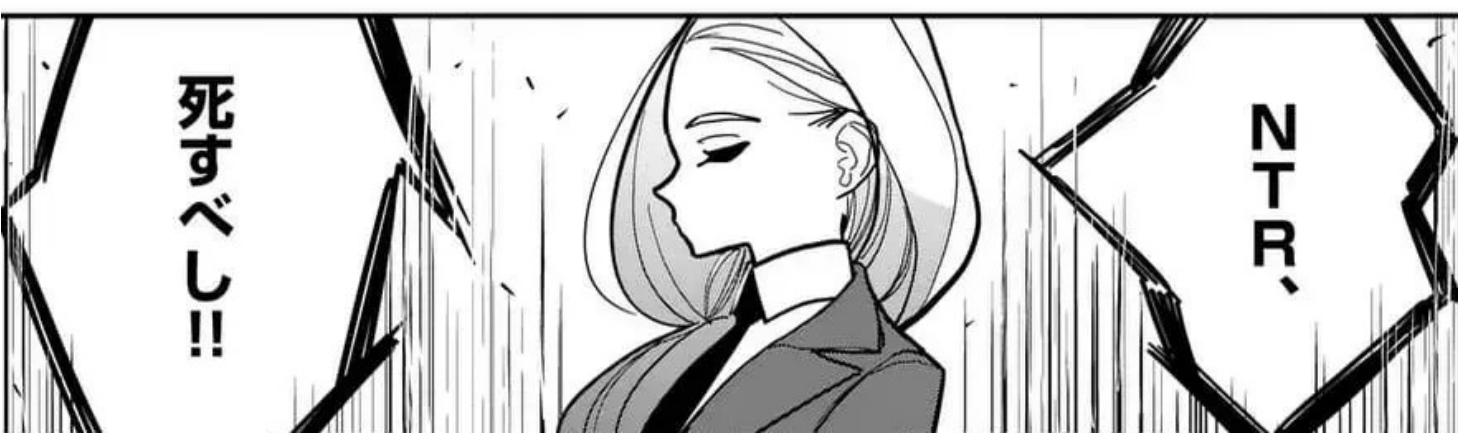
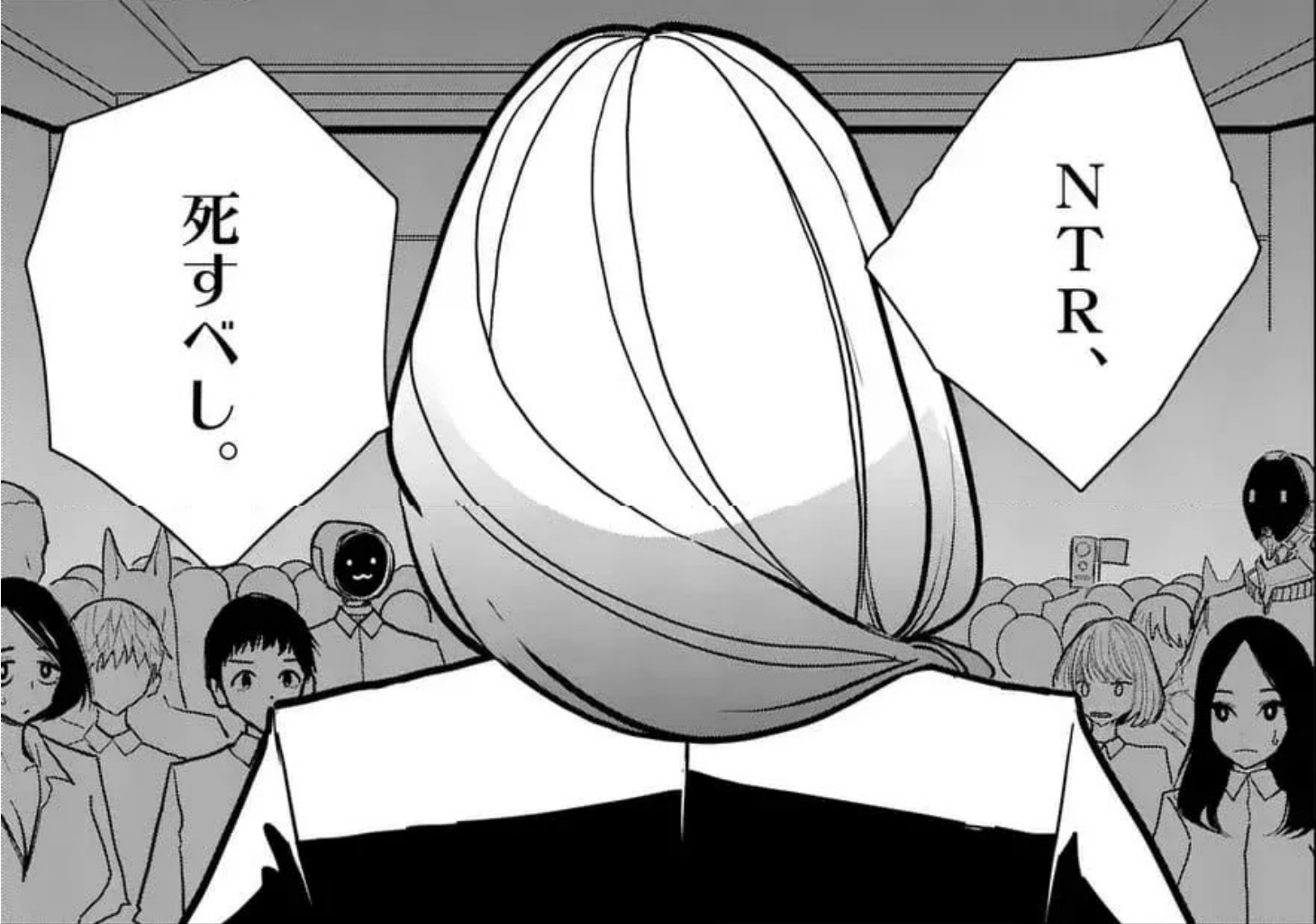
正義のため、

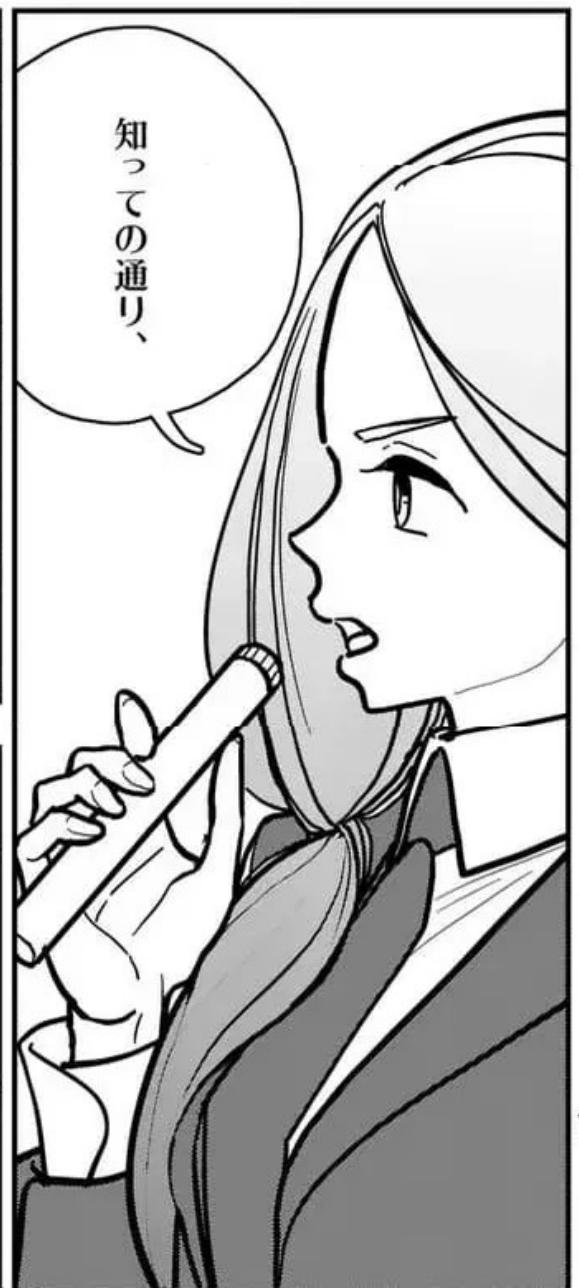
どうか
皆さんのお力を
貸してください。

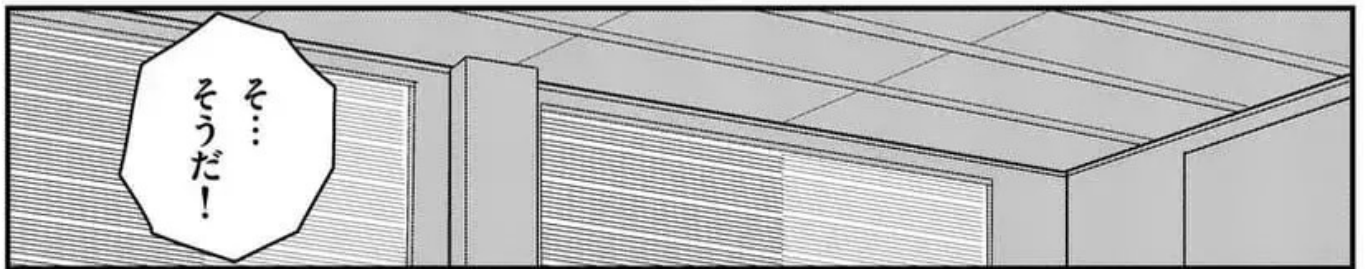
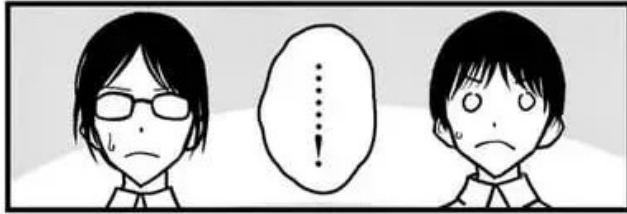
もはや、
平和的手段で
撲滅できる段階は
過ぎ去りました。

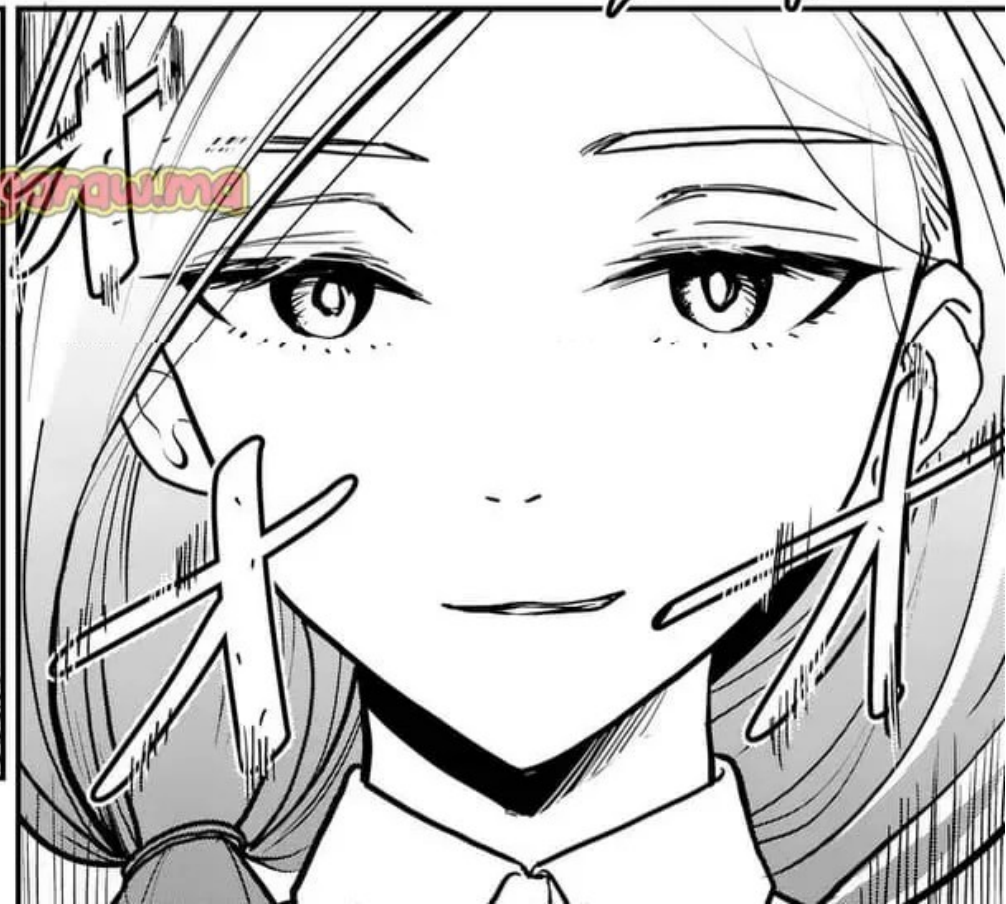
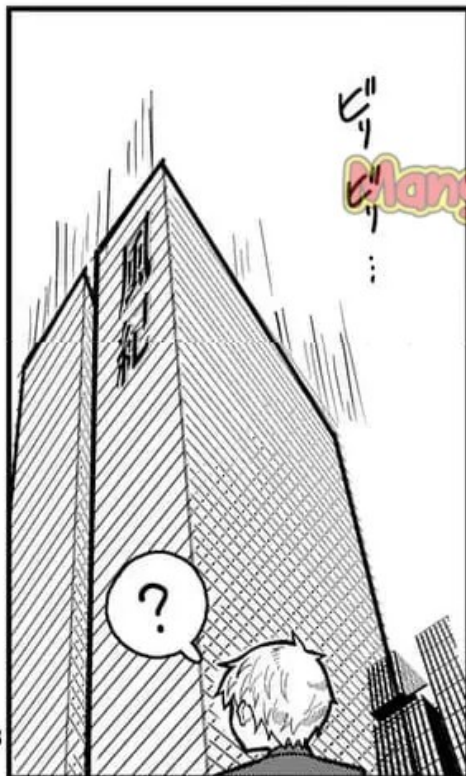
私たちは
もうハッキリと
こう言うべき
なのです。

死すべし。













「私、ベツトに洋服着せるのってあまり好きじゃないの。」



第一章 罇

「おすわり。」
 どんなに理不尽
 もしかして、もしかして、
 射精させてもらえぬのだらう？ 今日、
 その期待が理性を失わせるのか？
 「ええと……」
 最後に射精さ
 いっただったかしら？」
 あまりの仕打ちに微かな怒りを覚
 しかし彼の身体はすでに彼女が与え
 快樂の奴隷と化しているのだった。
 彼のシンボルはその期待と焦燥をわかりやす
 知らしめるように、飾られたように上を向く
 先端と床を透明なヨダレでつなげていた。

Maryrowma

第二章 蝶

羞恥に下を向く彼の赤く染ま
 下を猫の喉を撫でるように
 それを見下ろす彼女の表情
 眼光が一糸まとわぬその肌
 さらに赤く染めていった

第三章 快楽

「ずいぶん素敵なポーズ
 微かに笑いな
 彼女の指に操られるように淫靡な収縮を
 繰り返す肛門まで、男性の最も秘すべき
 高く掲げるその姿は、崇拜する神像
 貢物を捧げるように彼女

第四章

蜜地獄

カリカリと
 彼女の爪がそ
 優しく陰囊を撫
 精液が作られ
 いくよう
 むず痒い
 快樂がそ
 背すじを



指が尻から腰背すじを通るような、背骨が揺れる快感が這いあがっていくのを自覚した時、もはや嬌声をかみ殺すことはできなかつた。成人した男性がここまで情けない声色で、さらに追い打ちをかけるように、ひくひく垂らされた冷たいローションはすぐに彼の熱は彼自身の恥ずかしい箇所をも全「お……もうお願いですから……」尻を振ッながらねだるその姿はしかし、彼



これは
ダメだ。

だ……
ダメだ。



あ、
それ……



なんだこの本!?





その時、

…!

ざわ…

体温が10度
上がる感覚
とともに、

そうか…

何言ってるの？

えっちな
お姉さんだ。

えっちな
お姉さん…

体の中に、

下腹部に
火が入った。

NTRと
えっちなお姉さん
ですよ！



闇を焼き尽くす

逆NTR!!

Mangaguma

紅蓮の炎となるように――

